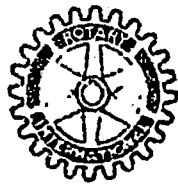


1968 ~ 1969 (43年度)

委員会活動方針



鹿児島西ロータリークラブ

1968～69年度目標

参加し敢行しよう

— ロタリー進展の年のために —

1. 貴クラブにおいて、参加し敢行すること。
2. 職業を通じて、参加し敢行すること。
3. 地域社会づくりに、参加し敢行すること。
4. 国際的接触を通じて、参加し敢行すること。

東ヶ崎 深 R! 会長

会員増加と友愛を

会長 駿島 志彦太

私は、ロータリークラブに参加し、クラブの規約に拘束されるのは強制されること、もし、なかったならば、私の直接の利益を離れて純粹に人のために役立つ機会と失ったかも知れませんが、もちろん、皆さんと知り合うことも……。

ロータリーは、他人のために役立つという人間の持つ最も高尚な悦び——つまり奉仕を——発見し、人々に分ち、言葉にし、行ないにするチャンスを与える場である、私は思うようになりました。 PARTICIPATE を参加、政行しようという東ヶ崎 R.I 会長の就任メッセージは、意味深いものがあります。現代は社会の営みに何か役立ちたいに参加する機会をとどされた若者たちが絶つてしまっている時代だといわれます。私たちは地域の有能な人々に、今年度は、ぜひ「ロータリー参加」の機会を稼いあげたいと思います。つまり

会員をふやすこと、このことを西クラブの今年のテーマの努力目標にした、と思います。できますなら、各委員会から今年中に1人は会員を推薦して下さるようお願いを申し上げます。このことはクラブが地域社会に奉仕する事業を行なうために、財政力を強める意味からも重要であります。オ=は西クラブ伝統の「親しみやすさ」——

つまり友愛を一高めることにつとめたいと存じます。以上
たった二つのことを実りあるものにするために、会員の皆
様、どうぞ未熟な私をお助け下さい。ロータリーには見
物席はないたそうであります。お互いが出演者をつと
めましょう。なごやかに……。

会員とともに

幹事 柴山一雄

私は、会長の方針と忠実に守り、西R.Cの例会と気軽に
ななごやかなものにもつてゆくよう努力します。我等のR.C
も5周年となり、次の階段を登る年です。今まで築いた
歴史とよくするも、悪くするも、今年的一年ではないでし
ょうか。お互いに「初心忘るべからず」という詞のように、
発足の年又は入会の時を想起して、心新たに謙虚に
会員一人一人が、会の運営に協力して下さいようお願
いします。R.I会長の、参加し敢行しようをかみしめて、
西R.Cのよりよい会と期する覚悟です。

会計

会計 岡山 家

(基本方針)

すべての資金、帳簿並にクラブ財産を保管し、その収支を常に明らかにすること等、クラブ細則の定める一切の会計の職務を忠実に履行したい。

(計画)

予算と毎月正確にチェックし、クラブの円滑な運営に資するため必要と思われる資料を積極的に理事会等に提供する。

クラブサービス

会務担当 安楽庵 一郎

(基本方針)

年度計画を作成し、そのスケジュールに従って実行できるように適時専員長連絡協議会と開いて会務の円滑且つ能率的な運営を促進する。

(計画)

1. 年度事業計画を策定。

(1) 6月13日 前年度反省会と続いて専員会の調整。

(2) 6月20日 各委員会を用いて、各委員会年度計画策定。

(3) 成るべく早い時期にスケジュール(年度)を策定。

2. 計画に基く円滑で能率的な運営。

(1) 7. 9. 11月に1回づつ専員長連絡会議を開催。

(2) その後は通時実施する。

(3) 専員会相互の任務限界については、その都度協議し、記録して後日の参考とする。

S. A. A

S. A. A → ~~伊東 則生~~
副S. A. A → 幸泉 芳良
 → 光吉 正昭

(基本方針)

当クラブは、今迄立派な歴代S. A. A 並みに、会員の方々の活動努力により、来訪ロータリアン及び来賓の方々により、印象と手交、和気あふいたる雰囲気でも進められてきましたが、これからも、会員相互の親睦と理解の上に立って、和やかな雰囲気とより以上に維持し盛りあげてゆきたい。

(計画)

友愛に満ちた例会を持つためには、それだけの以前の準備が必要であり、開会前20分前には出席して会場の準備を終え、気持ちよく来訪ロータリアン、会員の方々と迎えられるような雰囲気と作ってゆきたい。

ニコニコホラクスについては、親睦と理解を深めるため、親睦専員の方々と連絡を密にし、積極的に親睦専員ととむして活用してゆきたい。

出席奨励委員会

委員長 川路 清高
委員 神山 光政
" 黒木 長太郎
" 池田 広

(基本方針)

100%出席率の維持。

(計画)

1. 地区大会等への出席を奨励する。
2. 地区の出席率のベストテンに入ること。
3. ビジターに出席時間 60% を必要とすることを了解してもらう。
4. 100%出席率以上に他クラブへ出席して他所の空気を吸って来ること。

職業分類委員会

委員長 林 幸光
委員 河井 時義
" 高岡 博樹

(基本方針)

1. 業種 / 会員の規則に徹し、理事会、会員選考委員と連絡して、会員の増加に協力す。

(計画)

1. 職業分類表を作成し、会員の増加を会員選考委員に協力する。

会員選考委員会

委員長 名越 時秀
委員 土橋 英夫
" 島津 忠丸

(基本方針)

1. 他の委員会 就中 職業分類委員会との連絡を密にし、クラブの充填及び未充填職業分類の一覧表を検討し、且つ開放された職業分類を充填するよう適当な人物を理事会に推薦する。
2. 会員の選考に当っては、情実を排し、厳正を旨とし、その人と成りに重実を置いて、個人の品性と出席可能性を重視する。
3. そして、調査、判定の結果を理事会に報告する。

(計画)

年間会員増加目標 10%以上と計画している。

プログラム委員会

委員長 新福 栄熊
委員 福田 敏之
" 小山 幸義

(基本方針)

奉仕の精神に則り、クラブの精神を継ぎとんで、全員が喜んできくようまプログラム編成に努力する。

内容はバランスとハイライトを保ち、品格、有益、新和感

エーモアのあるものとする。

このため、クラブの役員、各委員長、全員と密接な連絡を保ち、卓話者の開発をはかる。

(計画)

1. 例会の卓話はゲスト 50%、会員 30%、映画 20% で進める。
2. 予定された例会より早くとも 1カ月前には卓話者が決定できるように計画する。
3. 卓話者の紹介はプログラム委員が交替して行うのが原則とする。

広報委員会

委員長 牧田 健二
委員 塘 一郎
" 桜真 四郎

(基本方針)

ローター精神とクラブ活動の情報と、一般の人々に提供し、ローターに対する社会の認識と理解を深めるように活動を行う。具体的には次のようを事項と重層的にとり上げる。

1. クラブ内伝達については、会員各自にガバナーのマンスマーレター、ローターアン誌、国際ローター・ニュース、ローターの友及びクラブ週報、雑誌と精読し、ローターの情報を十分に把握してもらうと共に、クラブ各委員会、特にローター情報プログラム、会報雑誌委員会と密に連絡し、当クラブは勿論、

国際ロータリーにフリアのロータリー活動状況が常に会員に伝達
されていくかを見届け、又伝達に努める。

2. 地域社会への伝達にフリアは、報道関係会員、ロータリー情
報、プログラム、会報雑誌委員会の協力を得て、新聞、ラ
ジオ、テレビ等のマスコミ関係に、当クラブの興味ある正確
な情報と提供し、一般社会のロータリーに対する理解を深
めることに努める。

3. 会員各自のロータリー精神にもとづく生活と活動が、最も
大きな広報力であることと自覚してもらう。

(計画)

1. 基本方針 (1), (2) の実施。
2. 毎年行なわれる西ロータリー賞受賞者の広報。
3. マスコミ関係者の、例会出席と座談会の実施。
4. インターアクト活動の広報。

親睦委員会

| | |
|-----|-------|
| 委員長 | 浜田 馨 |
| 委員 | 藤安居 造 |
| 〃 | 久保 政次 |
| 〃 | 増竹 成紀 |
| 〃 | 外西 寿考 |
| 〃 | 福田 穰 |

(基本方針)

親睦こそロータリーの原動力であるとの信念に徹し、S.A.A
と連絡を密にし、会員並に家族の親睦の機会を創るよう
努力する。

(計画)

1. 毎月第一例会日にその月の該当者に誕生祝 結婚祝の記念品を贈り、尚誕生者にはバースデーソングで歌い祝福する。
2. 新入会員は早くクラブの親睦の中に融けこむで頂くため必ず親睦委員会に加へるよう配慮して頂き、一定の期間例会日に名札を手渡す等の役をお願いする。
3. 果外ビジターは努めて同一職業分類の会員階層に参加し、特に遠来の客には一分向スピーチ等をお願いする。
4. 家族会の開催
秋の親月会、クリスマスパーティー、春のレジャー
5. 会員を中心とするスポーツ及びインテリゲーム等開催
6. クラブ対抗の旅行等に積極的に参加する。

ロータリー情報委員会

委員長 衛藤 右三郎
委員 倉岡 浩市
" 西郷 隆彦

(基本方針)

1. 新会員の方へロータリアンとしての義務と理解を促すことに努力。
2. 会員にロータリーの歴史、綱領及び活動の状況に因る色々の資料を集め提供し、奉仕活動の意欲を盛り上げることに努力。 ◎ 以上徹底させたい。

会報・雑誌委員会

委員長 川村 洋

委員 徳田 基

“ ~~飛岡 俊夫~~
川上 鉄太郎

(基本方針)

会員と役員間、クラブと国際ローター、及び会員相互間
のよき位置関係を築くべく努力する。

1. クラブ活動の活性化を促す。
2. 週報の内容に魅力を持たせ充実をはかる。
3. 会員の出席向上、親睦をはかる。

(計画)

週報の発行

職業奉仕委員会

委員長 高田 光毅

委員 米倉 秀雄

“ 栗川 又雄

(基本方針)

ローター精神の基本の主要な一つは、各自の職業を通じて
社会奉仕をすることであるということと、会員に深めること
と基本態度として努力したい。

(計画)

1. ケーススタディを例会で行い、会員の関心を高める。
2. 会員各目の事業場とローターとの連繋を密にするようま

行事を企画したい。

3. 例年実施している優良職業人の表彰を引続き実施する。

社会奉仕委員会

委員長 岡元健一郎

委員 若元健吉

〃 木原 良

〃 下野 隆三

(基本方針)

所属地域社会をよく知り、何が最も切実に要求されているかと発見するようにつとめる。当クラブでこれに対処し得る可能性を検討して、やれば出来ることから実行してゆく。地域社会の改善向上に奉仕したい。尚、この際、クラブ内の関係諸委員会、社会の団体諸団体との連携、協働についても十分に考慮したい。

(計画)

1. 地域内の福祉、公共、教育、教養、保健事業の実態を例年卓話あるいは直接の接触で認識する。
2. 交通安全、防火、防災事業団体の優秀者の表彰。
3. 身体障害児童施設の勤務職員への激励と感謝。
4. 災害見舞、義捐など予算の範囲内で努めて積極的に行ないたい。

青少年奉仕委員会

委員長 田平礼章

委員 春山ジャスティン

〃 ~~光吾正昭~~

〃 若松新一

〃 梅真 義明

(計画)

1. インターアクトの育成 充実.
2. ワンダーフォーゲル運動に協力.
3. 地域青少年運動に協力.

国際奉仕委員会

委員長 久保田 秀穂
委員 岩田 太一
" 岩元 正二

(基本方針)

国際親善の基本的なことは、まず ① 日本と外国に理解してもらおうことと同時に ② われわれ自身が「それぞれの国又人間」を理解することである。③ この線にそって、当クラブとして実現可能と思われることから手をつけて行きたいと思う。

(計画)

1. 日米交換学生の手配をする。
2. 世界理解週周中、留学生と例会に招待するほか、クリスマスパーティーにインターアクトと一緒に招待する。
3. 鹿児島島の風物、ロータリー活動の状況を他クラブと共同でクラスライドにおため、マッチクラブに送り親善理解につとめる。
4. 児童画など「マッチクラブ」と交換したい。